

大阪・京都教区報

つ の ぶ え

発行責任者 久敬
 主教 磯高地 晴
 大阪教区事務所 06-6621-2179
 京都教区教務所 075-431-7204
 通算号数
 大阪493号、京都753号

100年前のクリスマス

主教 ステパノ 高地 敬

大阪教区は2023年に教区成立100周年を迎えられます。その前の大阪地方部と京都地方部の関係が、よく分かっていませんでした。お粗末なことで申し訳ありません。先日逝去された浦地洪一司祭の書かれた『日本聖公会150年の航跡』という便利な本をたどってようやくそれが分かってきました。

1891年(M24) 日本聖公会第3総会で東京(石川・岐阜以東の本州)、大阪(本州の残りの部分と四国?)、熊本、函館の4地方部制となる。

1896年(M29) 英国S.P.G.のW.オードレー主教、大阪地方部初代主教に就任。第5総会で東京北部、東京南部、京都、大阪、熊本、

函館の6地方部が設置された。1899年(M32) 米国聖



公会臨時主教会で京都地方部初代主教にパトリック・G.のH.J.フォス師が大阪地方部伝道主教に就任。

1923年(T12) 第14総会で東京、大阪教区設置の件可決。従来の大阪地方部の残

12月号の紙面

- 大阪教区婦人会秋の修養会／主教コラム.....②
- 生野センター30周年記念セミナー／大阪教区墓地礼拝.....③
- 教会紹介／常置委員会・局長会議報告.....④
- 諸記念／主教巡回予定.....⑤
- ⑥

りの部分を「神戸地方部」と改称する。北海道、東北、北東京、南東京、中部、京都、神戸、九州の8地方部と東京、大阪の2教区となった。

後に沖繩教区を加えて11教区となる。大阪地方部から京都地方部が分離された時には、大阪は大都市です。ので、米国ミッションが担当する教会は京都地方部が、英国のミッションが担当する教会は大阪地方部の管轄となっていました。大阪教区成立の際にそれが解消されたようです。

教会成立の少し前、100年前の1921年晩秋に川口基督教会の名出保太郎司祭が入院され、川口を管轄していた京都地方部のタッカー主教は次のように書いておられます。(要約)

「私のクリスマスは忙しいものでした。24日(土) 和歌山の笠田村での夕方の礼拝、その後の鶏鍋も食わずに和歌山に移動、宿泊。25日早朝に大阪に移動。川口でクリスマス

の礼拝、8人の幼児と13人の大人に洗礼。礼拝後コロッケとビーフステーキの昼食。午後、日曜学校の祝会。その後、京都聖マリア教会での礼拝。地方の教会の礼拝のため月曜から木曜夜まで連続して旅行しました。」

なんと超人的なと感心します。その上で、「日本人は未信者の友人をクリスマス礼拝に連れてきますので、この礼拝は福音伝道の強力な手段なのです。」

とっても嬉しい礼拝だから、知人とそれを分かち合う。聖職は忙しいけれども、「伝道」の本来のあり方について言われておりました。

(京都教区主教)

「かみさまとわたし」

「私は好きになりました。何でもかんでもみいんな。ねぎもトマトもお魚も(中略)うちのおかずはみいんな、母さまがおつくりになったもの」

金子みすゞさんの『みんなをすきに』という詩の前半です。後半はこうです。「私は好きになりたいな。誰でもかみでもみいんな。お医者さんでもからすでも残らず好きになりたいな。世界のものはみいんな、神さまがおつくりになったもの」

私は、夕映えの空の絶妙な色彩を見た時などに感動し神さまの偉大な力に敬服することがあります。一方で核兵器や児童虐待など受け入れ難い現実と直面する事もあります。そんな時はこの詩を思い出して「世界の物は皆、神さまがおつくりになったもの」と考えるようにしています。愛せないと思う事象でさえも「神さまがおつくりになった」となれば、なぜ今その問題が自分の前にあるのか?を考えられる力が湧きます。どんな時も神さまに喜ばれる人でいたいのです。

(東豊中聖ミカエル教会)

氏家 正美

大阪教区婦人会秋の修養会

「気がつけば共に歩いたもう主」

秋の修養会が、10月18日に石橋聖トマス教会で開かれまし
た。コロナ以降2年ぶりの開
催です。参加人数は82名、
席上献金(143,100円)は
ライフ・リバーの活動のため
にお献げいたしました。石
橋聖トマス教会の皆様の入念
なコロナ対策のもと安心して
参加することができました。
感謝申し上げます。

煙野先生は、ハンセン病が
ご専門の医師で、JOC Sの
派遣ワーカーとしてバン
グラデシユで10年間、その後
光明園でも勤務されました。
現在は、JOC S会長、邑久
光明園名誉園長を務められ、
ライフ・リバーの活動も積極
的に続けておられます。そし
て、芦屋聖マルコ教会の信徒
でもあります。

先生は、派遣先のバン
グラデシユで貧しく困難の中
に人々の中にこそ神様が共
におられ、その人々と共に生
きる(みんなで生きる)ことが
本当に生きることなのだと思
感されたそうです。「小さい
もののために行くことは、わ
たしのために行くことにな
る」という言葉の実践だと思
います。また、苦しい時に
祈ることも学び、祈りの中
でイエス様が共に歩んでくだ
さっていると感じられたそう
です。そして、祈り書には祈
るべきことが端的にかつ的確
に書かれてあり、毎主日、そ
の言葉を繰り返し返し唱える
ことは信仰生活を続けるうえ
でも大切なことだと伝えて
いただきました。



くとても有意義な機会となり
ました。恵み多き一日に感謝
いたします。
(芦屋聖マルコ教会
小林 まり子)

羊だより 「求めよ、さらば与えられん」

先日友人と新しい聖書につ
いて話をしている時、「やっ
ぱり文語やで」と友人。「求
めなさい。そうすれば、では、
ピンとこんのや。求めよ。さ
らば与えられん。ええなあ」
「主の祈りも文語がしつくり
くる。天にまします我らの父
よ。」私もそうですが、年齢
が60代後半に入ってきてき

と、中学生の頃、文語で憶え
たことが、懐かしく、しつ
くりきていることに気づか
れます。
さて、大阪教区に新しい神
学生が与えられようとして
います。本当にうれしいこと
です。聖職候補生を志願する
時、志願書を提出します。その
方の志願書を読みながら、私

40数年前のことを思い出
した。色々書き連ねましたが、
ほとんど覚えていません。し
かし、一つだけ覚えているの
です。「人々の心の琴線に
触れる説教ができる牧師にな
りたい。」また、司祭按手に
与った時には、作家の井上ひ
さしの「難しいことをやさ
しく、やさしいことを深く」と
いう言葉を大事にしようと思
っていました。この言葉には、
まだ続きがあることを最近知

りました。「深いことをお
もしろく、おもしろいことを真
面目に、真面目なことをゆか
いに、ゆかいなことをいっ
そうゆかいに。」井上さんの小
説を読むと、なるほどと思
います。

こうしたことを座右の銘に
できたらと考えてきました
が、ホームページの主教メッ
セージを読み直す時、「琴線
に触れる」や「難しいことを
やさしく」が、座右の銘では
なくて、「あこがれ」とい
ていい自らの現状を思わされ
ます。道ははるか、道半ば、
山頂ははるか遠く、途方に暮
れます。
しかし、主イエスは何度
も励ましてくださいます。
「求めよ、さらば与えられ
ん。尋ねよ、さらば見出さん。
門を叩け、さらば開かれん。」
(マタイ7:7)

やっぱり、文語やで。
大阪教区主教 磯 晴久

聖公会生野センター30周年に向けて

Ⅱ連続セミナー第2回報告Ⅱ

2022年に30周年を迎えるのを前にして連続セミナーを開催しています。第2回は

コロナの感染状況が落ちている状況の中で大阪聖愛教会を会場にしてオンラインでも配信しました。参加者は会場に11人、オンライン参加者が41人、合計52人でした。

講師の李清一（イ・チョンイル）牧師は1971年から在日韓国キリスト教会館（KCC）で働きを始めて今年でちょうど50年になります。8年前に現役を引退なされましたが「元老」とお呼びすれば



いいのでしょうか？生き字引としても現在も多くのことに活躍です。

講演のタイトルは「生野地域の教会の働きから考えるⅡ エキュメニカル運動と聖公会」。戦前からの歴史を俯瞰しながら生野地域における教会と地域活動の歩み、そしてアジア・世界へと広がる働きの歴史を語ってくださいました。

生野区は太平洋戦争のさなかの1943年に東成区から分区して生まれました。それは戦争と関係します。分区によって、人々を戦争体制の中で、人々の管理を強化するた

めでした。ですから生野地域という表現はまだ生野区が誕生する前も含めています。李牧師の属する在日大韓キリスト教会は朝鮮の植民地後、日本に住むようになった朝鮮人宣教がその始まりです。1920年代は済州島と大阪に直行の定期便が開設されたこともあり多くの人が大阪にやってきます。当時の大阪は「東洋のマンチェスター」

と呼ばれ、日本最大の工業都市でありました。それゆえ「外部」から多くの労働者を引き付けてきたのです。ご存じかもしれませんが大阪の大正区は沖繩から人々がやってきて現在も住民の3分の1は沖繩ルーツの人たちです。

生野地域は定期便開設と共に済州島の人を中心として朝鮮人が多くやって来て定住することになります。その人たちが現在のコアタウン（朝鮮市場）を形成します。1921年には現在の在日大韓キリスト教大阪教会のルーツとなる朝鮮人女性による祈祷会が始まります。実はこの時から聖公会とのかかわりが始まったのです。1923年から3年間、その祈祷会や集会は現在のプール学院の一角の提供を受けて行われていたのです。当時はK.A.Sトリス

トラム宣教師が校長の任にありました。彼が場所を提供したのですが、校長の交代と共に警察の迫害が始まり使用が出来なくなりましたが、しかし彼は移転先の家賃の支援を続けたという記録があります。

在日がほとんど無権利状態にあった1970年頃からの

KCCの働きはまさに先駆的なものでした。教会の視点から見ると、1972年に「生野区地域教会連絡会」が作られ、聖公会、カトリック、教団、在日大韓の聖職が集ま

す。この活動から1972年には公立小学校で「生野区民クリスマス」が始まり今も開催されています。そして世界教会一致祈祷会も継続して開かれています。これは「生野地域教会一致の祈祷会」として年に1回、教派を超えた祈りの時として続けられています。そして教会だけの活動でなく「生野地域活動研究会」、「生野地域問題懇談会」と生野地域を深く学ぶ仕組みが教会を基盤として始められました。「生野地域問題懇談会」はあるオモニ（日本語で母）が「私たちも文字を学びたい」という問いかけから生野オモニハツキョ（学校）と発展していきました。在日の女性、特に1世は儒教的な価値観や植民地出身の貧困から学校に行く機会を得ることが出来ずに生活に大きな不便を抱えていました。生野オモニハツキョはその後、京都、横浜、東京と拡がっていきます。こ

の活動も40年を超えた今でも続けられています。

1977年にはこれらの活動から「生野地域活動協議会」が結成されます。通称「地活協」と呼ばれています。生野区の教会が教派を超えて作られた地活協は当初から常勤のスタッフを配置しました。初代は李清一さんでした（当時は信徒）。その後生野区にある日本キリスト教団の在日信徒が有給スタッフとなり、三代目が私呉光現（オクベヒョン）の専従体制は1992年まで継続されました。なんと生野区の教会の力を集めたら大きな働きができたのです。

地活協と聖公会は当初から深い関係がありました。大阪城南キリスト教会は当初からのメンバーでした。歩いて3分で生野区に隣接している大阪城南キリスト教会の牧師は当時はプール学院のチャプレンでもあった司祭の松山龍二（まつやまりゅうじ）先生でした。松山司祭は地活協ができる以前から生野カトリック教会と合同祈祷会を始めるなど生野区と関りもあったのです。松山先生は「間に合う」存在でありたいとよくおっしゃっていたのは印象

に残っています。間に合うとは「生野の隣人として」「在日の隣人として」として大切なのだとよく語っていたのを思い出されます。

地活協は「生野を私たちの手で新しく」をスローガンにして様々な活動を展開します。一例をあげるだけでも「母と子ども共に学ぶ 生野コミュニティスクール」「コミュニティリーダーゲームナー」「インベーターゲーム実態調査・地域集会」「フィリップンでの青少年リーダーシップトレーニング」「SCM(キリスト教学生運動)生野・釜ヶ崎現場研修」「指紋押捺拒否者支援」と多岐にわたりました。

地活協はスタッフの人材の育成にも力を注ぎました。アジアでは1971年からカトリックとプロテスタントの共同事業であったACPO(Asian Committee for People's Organization)という組織がありました。ここに地活協の専任スタッフを派遣したのです。私の前任者は香港で2週間、私はフィリップンで1か月研修を受けました。1984年のことです。当時

のフィリップンはアキノ元大統領候補がマニラ空港で暗殺されマルコス長期独裁政権に対する民主化運動が高揚していました。私はマニラのスラムで研修を受けましたがそこではコミュニティワーカーと住民が地域の課題を解決するために地道な活動を行いつつフィリップンの民主化にも積極的に関わっていたのを覚えています。そこで地域活動はその地域だけの課題ではなく大きな枠の中でとらえる思考を訓練されました。この経験はその後の活動に大きな影響を与えました。特に1980年代から始まった外国人の指紋押捺問題に取り組み時にその経験が生かされたと思います。

外国人登録法(外登法・2012年廃止)は在日外国人の管理を目的とし、切替の際の指紋押捺や登録証の常時携帯を義務付けるなど日に對する「差別」の象徴的な制度でした。80年代に指紋押捺拒否者が生野区でも出てきました。そこから大きなうねりを作るべく1984年に「外登法問題と取り組む関西キリスト教連絡協議会(外キ連)」が作られ関西のキリスト教会

で活動しているひとたちが集まりました。さらに翌1985年には「外登法問題と取り組む関西キリスト教代表者会議」が設立されます。この年の大集會に大阪のカトリックの聖マリア大聖堂に1000人を超える人たちが集まったのは画期的なことでした。「外国人の人権」をめぐる関西のクリスチャンが一堂に会したのです。それから外登法問題、さらに在日外国人問題「宣教の課題」として取り組む契機になりました。そして「宣教の課題」は「宣教」そのものであるという理解につながっていきます。これは関西だけでなく北海道から九州まで各地に「外キ連」が生まれ、全国的な教会の取り組みになっけていきます。

ここにも聖公会の役割が大きくあります。歴代の代表は初代の木川田一郎大阪教区主教から6人中4人(第3代高野晃一大阪教区主教、第5代中村豊神戸教区主教、第6代磯崎久現大阪教区主教)が聖公会の主教がその任を務めます。ここでも教派をつなぐ働きを聖公会が担っているのです。最後に李牧師は「エキユメ

ニカル運動は、キリストの体としての教会が合わさり、この世にキリストが現存することを「言葉と行為」を持って証言する宣教運動である。今後、地域活動において、宗派を超えて『正義と平和』を目

第3回大阪教区 合同埋葬式

11月6日(土) 14時から第3回大阪教区合同逝去者記念式、埋葬式が大東市の大阪霊園で執り行われました。

今回埋葬された逝去者は、お名前の分かっている方が7名で、芦屋聖マルコ教会1件2名、大阪聖三一教会1件5名、その他大阪聖三一教会の



指しての連帯運動が必要で「す」と締めくくられました。今回は2022年1月28日(金)午後7時、大阪聖愛教会とオンライン配信で開催します。(聖公生野センター 総主事 吳光現)

お名前の不明の方数名の内訳でした。司式は磯崎久主教、補式は齊藤壹司祭、内田望司祭、ウイルソン司祭で、参列者は総勢約30名でした。薄曇りの天候でしたが、丁度良い気温で、皆さんで静かに故人を偲び、祈ることが出来ました。教区合同埋葬式は毎年11月の第1土曜日14時からと決めて開催しています。

また、それ以外の時期でも随時個別に埋葬が可能です。京都教区の方も、ご相談ください。生駒山の山頂に近い場所にあり、大阪平野が一望できるところでも景色の良いところですので。霊園自体も出来て間がない新しいところですので、休憩場所やトイレもきれいで、とても落ち着けます。ぜひ一度訪れてみてください。(墓地管理委員会 太田幸彦)

教会紹介 大阪編

大阪聖アンデレ教会

今から約120年ほど前、当時「高等英学校」と呼ばれ、後に桃山学院となる学校の中で生徒と教員の礼拝活動が始まりました。それが大阪聖アンデレ教会の始まりです。以後現在まで、この礼拝活動は途切れることなく続いています。戦争中は校地内での礼拝活動が禁止され、信徒たちは、校長宅や学校近くの会館で礼拝を続けた記録が残っています。

昨年新たに大学校舎の中に取り込まれる形で礼拝堂が建て替えられました。誕生当時の形に戻ったとも言えます。現在は、建て替え中の大阪聖三一教会と一緒に合同礼拝を続けています。

(大阪聖アンデレ教会牧師/桃山学院中学校高等学校チャペレン 司祭 義平(よしひら) 雅夫(まさお))



京都教区

【常置委員会報告】 11/9

1. 報告事項

▼主教報告

- 11月5日、浦地(うらち)洪(こういち)一(いち)司祭(しやうさい)が逝去(しよきよ)され、聖(せい)アグネス(あぐねす)教会(きやうかい)で通夜(つうや)の祈(いの)りおよび葬送(そうじやう)式(しき)を執(と)りおこなった。
- 11月3日、新宮(しんみや)のマリア(まリア)保育園(えん)創立(てんりつ)50周年(しゆしゆん)記念(きねん)式典(しきてん)が開催(かいさい)された。

▼常置委員長

- クリスマス(クリスマス)礼拝(らいはい)の応援(えんげい)体制(たいせい)を作成(せいせい)している。

- ▼ 特別(とくべつ)財産(たさい)運営(えんぎやう)委員会(いいんかい)
- 教区(きやうく)ビル(ビル)解体(かいたい)の議事録(ぎじろく)を常置委員会(じやうしいいんかい)で確認(きんぎん)した。
- ▼ 特別(とくべつ)協働(きやうどう)教区(きやうく)運営(えんぎやう)委員会(いいんかい)
- 11月8日(げつ)、夕(ゆふ)の祈(いの)りと意見交換(いけんこうかん)をもって最後の委員会(いいんかい)を開催(かいさい)した。

2. 協議事項

- 第117(だい)定期(ていぎ)教区(きやうく)会(かい)への質問(しつもん)、意見(いけん)について確認(きんぎん)し、協議(ぎぎ)した。
- 荒木(あらかき)太一(たいいち)司祭(しやうさい)が11月30日(にち)付(つ)で休職(きゆうしやく)することについて同意(どうい)した。

3. 諮問事項

- 2021年(ねん)11月(げつ)末(まつ)、12月初(しつ)め

- め(め)の人事(じんじ)異動(いどう)について、可(か)と答申(こたへん)した。(文責(ぶんせき)・常置委員会書記(じやうしいいんかいしやく))

【局長会議報告】 11/29

1. 総務局報告

- ▼ 宗(しゆ)教(きやう)法人(ほうじん)「日本(にっぽん)聖(せい)公会(くわい)京都(きやうと)教区(きやうく)」の規則(きぎ)変更(へんぎ)の作業(さぎやう)を開始(かいし)する。
- ▼ 京都(きやうと)教区(きやうく)教役(きやうやく)者(しや)会(かい)が2022年(ねん)1月(げつ)25日(にち)～27日(にち)に教区(きやうく)センター(せんたー)で行(おこな)われる。

2. 宣教局報告

- ▼ J's部門(ぶもん)はオンライン(オンライン)クリスマス会(かい)を12月(げつ)11日(にち)(土(ど))に行(おこな)う。(下鴨(しもがも)基督教(きりすと)教会(きやうかい))

3. 財政局報告

- ▼ 2021年度(ど)教区(きやうく)経常(けいじやう)費(ひ)収(しゆ)支(し)月次(げつじ)報告(ほうぎよ)(10月(げつ)31日(にち))
- ▼ 12月(げつ)4日(にち)管区(くわんく)各(かく)教区(きやうく)財政(さい)担当(たうとう)者(しや)連絡(れんらく)協議(ぎぎ)会(かい)が行(おこな)われる。(ハイブリッド)

4. 協議事項

- ▼ 2022年度(ど)各(かく)局(きよく)人事(じんじ)案(あん)の検討(けんたう)を行った。
- ▼ 第117(だい)定期(ていぎ)教区(きやうく)会(かい)の執行(しやうぎん)事項(じきぎ)の確認(きんぎん)を行った。
- ▼ 大阪(おさか)教区(きやうく)との今後(こんご)について意見交換(いけんこうかん)を行った。(文責(ぶんせき)・局長(きやうじやう)会議(ぎぎ)書記(しやく))

大阪教区

【常置委員会報告】 11/4 第13回例

I. 主教報告及び諸報告

- * 11月3日(にち)(水(みづ)) 川口(かわぐち)基督教(きりすと)教会(きやうかい)宣教(せんきやう)150周年(しゆしゆん)記念(きねん)礼拝(らいはい)が無(む)事終(じしゆ)了(りやう)した。
- * 11月6日(にち)(土(ど)) 教区(きやうく)合同(ごうどう)埋葬(まいざう)式(しき)の予定(よてい)。
- * 中日(ちゅうにっ)本(ほん)宣教(せんきやう)協働(きやうどう)区(く)協働(きやうどう)委員会(いいんかい)は11月12日(にち)(金(きん))にオンライン(オンライン)での開催(かいさい)予定(よてい)。

【コロナ関連対応について】

- 10月(げつ)1日(にち)の緊急(きんぎよ)事態(じたい)宣言(げんげん)解除(かいじゆ)後(ご)感染者(かんせうしや)は減(へん)っている

が、まだ慎重(しんじゆん)に状況(じやうきやう)を見ていくべきとの注意喚起(ちゆい)の主(しゆ)教(きやう)メッセ(め)ージ(じ)を出す(だ)すこととする。

【宣教局】 SNS担当(たうとう)関係(かんけい)の位置(いち)付け(つけ)について検討(けんたう)する。

【財政局】 来年度(らいねんど)の各(かく)教会(きやうかい)教区(きやうく)費(ひ)分担(ぶんたん)金(きん)予定(よてい)額(がく)について、全(ぜん)教会(きやうかい)から承(たが)いの回答(こたへ)があった。

【総務局】 11月4日(にち)に教区(きやうく)会(かい)資料(しりょう)の発送(はうせん)を行った。

【OK運営委員会】 ニュースレター(にゅーす)第5号(だいごごう)が完成(せいせい)し、PR(ぴーあ)動画(どうぎや)のDVD(でびーでい)と合(あ)わせて各(かく)教会(きやうかい)へ発送(はうせん)した。

● 各(かく)教会(きやうかい)への訪問(ほうもん)説明(せつめい)会(かい)を継続(けんじゆ)している。

II. 協議事項及び主教諮問

- * 薦(すす)田(た)久(ひさ)美(み)子(こ)さん(さん)(大阪(おさか)聖(せい)パウ(ぱう)ロ(ろ)教会(きやうかい))の聖職(せいしやく)志願(しげん)を受(う)けて面談(めんだん)を行(おこな)い、承認(しんぎん)した。
- * ウイリアム(ウィリアム)ス(ス)神学館(しんがくくわん)の入試(にゅうし)後(ご)、教区(きやうく)神学生(しんがくせい)となる。
- * 11月23日(にち)の教区(きやうく)会(かい)の準備(じゆんび)事項(じきぎ)、議事(ぎじ)進行(しんぎやう)について協議(ぎぎ)した。

【総務局】 11月4日(にち)に教区(きやうく)会(かい)資料(しりょう)の発送(はうせん)を行った。

【OK運営委員会】 ニュースレター(にゅーす)第5号(だいごごう)が完成(せいせい)し、PR(ぴーあ)動画(どうぎや)のDVD(でびーでい)と合(あ)わせて各(かく)教会(きやうかい)へ発送(はうせん)した。

* 今年(ことし)度(ど)の現在(げんざい)堅信(けんしん)受領(じゆりやう)者(しや)の定義(ていぎ)について、主(しゆ)教会(きやうかい)及(およ)び管区(くわんく)の方針(ほうしん)として、統計(けいけい)報告(ほうぎよ)書(しよ)には規定(きぎん)通り(どおり)の計算(けいさん)方式(はうしき)とし、教会(きやうかい)委員(いいん)選挙(せんぎよ)のた

めには各(かく)教会(きやうかい)の牧会(ぼくかい)的(てき)配慮(はいり)に任(まか)せるとの通知(つうし)があった。

* 大阪(おさか)聖(せい)三一(さんいつ)教会(きやうかい)の建築(けんちく)資金(しゆきん)の管区(くわんく)からの融資(じゆうし)について、大阪(おさか)教区(きやうく)が返済(はいさい)に責任(せきにん)を持つ(も)つこと(こと)の決議(けつぎ)書(しよ)を作成(せいせい)した。

* 宮本(みやもと)憲(けん)神学生(しんがくせい)の教会(きやうかい)訪問(ほうもん)実習(じしゆ)を開始(かいし)する。

* 来季(らいき)の教役(きやうやく)者(しや)、3局(きよく)長(じやう)の人事(じんじ)について協議(ぎぎ)した。



大阪教区関係教役者
1月逝去者記念聖餐式

1月12日(水) 10:30~

- 1日 宣教師 ヘンリー・ラング (1917米)
司祭 デイビッド・マーシャル・ラング (1946英)
司祭 ウィリアム・ロイストン・グレイ (1950英)
3日 主教 ウィリアム・オードリー (1910英)
司祭 河合 堯三 (1939)
8日 司祭 テモテ 名出 望 (2015)
12日 司祭 ヨセフ 側垣 基雄 (1965)
司祭 ギデオンの 小川 博司 (2002)
13日 伝道師 三木 八十五郎 (1918)
15日 司祭 パーシー・A・スミス (1960米)
司祭 寺本 房吉 (1960)
19日 司祭 ペテロ 宇野 秀太郎 (1944)
主教 アーサー・リー (1958英)
伝道師 今泉 頼子 (1970)
20日 司祭 ヒカル 柳原 光 (1994)
主教 オーガスチン 高野 晃一 (2015)
21日 司祭 久永 光雄 (1937)
22日 主教 ペテロ 松本 寛一 (1980)
25日 執事 下部 徳太郎 (1933)
26日 司祭 パウロ 井上 進次 (2016)
27日 司祭 サムエル 久保 道則 (2011)
30日 執事 バルナバ 寺沢 久吉 (1945)
不詳 司祭 山下 有任 (1903)

京都教区関係逝去教役者
1月記念聖餐式

1月19日(水) 10:30~

- 4日 司祭 岡本 千代雄 (1951年)
5日 司祭 エノク 水谷 修三 (1997)
7日 執事 ピリポ 中山 時夫 (1977)
12日 司祭 ヨセフ 側垣 基雄 (1965)
17日 司祭 P.A.スミス (1945)
司祭 村田 松之助 (1946)
18日 司祭 パウロ 藤田 東一 (2019)
20日 司祭 C.H.エバンス (1955)
22日 主教 ペテロ 松本 寛一 (1980)
25日 司祭 曾根 茂樹 (1943)
執事 卜部 徳三郎 (1933)
30日 司祭 横地 謙 (2000)
31日 主教 ヨハネ 岡野 利治 (2021)
司祭 ベルナルド 大川 誠 (2021)

*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第2水曜日午前10時30分
から、川口基督教会で行われます。ご関係の有無にかか
わらず、どうぞ自由にご参加ください。

*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第3水曜日午前10時30分
から、聖アグネス教会で行われます。

聖 婚

福井聖三一教会 (11月6日)

リチャード 吉水 厳一

飯田 野那

洗 礼

尼崎聖ステパノ教会 (10月31日)

マリア 山本 栄美子

エステル 山本 和花奈

サムエル 山本 蒼人

逝 去 者

桜井聖保羅教会 (10月29日)

マリア 富田 恵子

上野聖ヨハネ教会 (10月31日)

プリスカ 稲森 勢津子

八木基督教会 (11月3日)

パウロ 岸田 善輝

大阪聖愛教会 (11月13日)

ルツ 増尾 るつ子

教区関係逝去者 (11月5日)

イザヤ 浦地 洪一司祭

イグナシウス 相澤 守司祭 (11月10日)

魂の平安をお祈りします

主教巡回予定(1月)

●大阪 尼崎聖ステパノ教会

2日 富田林聖アグネス教会

9日 川口基督教会

16日 大阪聖ヨハネ教会

23日 大阪聖アンデレ教会

30日 大阪聖三一教会と合同礼拝

●京都 八木基督教会

2日 東舞鶴聖パウロ教会

9日 八木基督教会

16日 聖アグネス教会

30日

お詫びと訂正

○11月号掲載の12月京都教区
関係逝去者のお名前が尾形
虎三司祭の逝去日が間違っ
ておりました。

12月6日(誤)→12月16日(正)

関係者の方々にお詫びして、
訂正いたします。(編集部)

